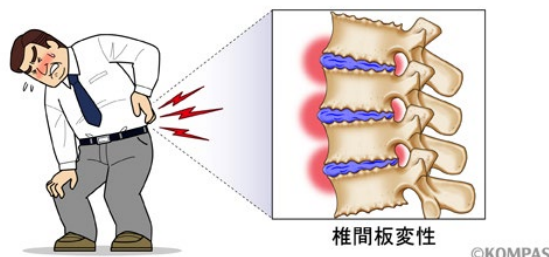


# 慶應義塾大学医学部整形外科と共同で 椎間板変性に対する新しい治療薬の研究を 行っています



慶應義塾大学医学部整形外科において、治療法が確立されていない椎間板変性に対する新たな治療薬となる可能性がある薬剤（抗酸化剤；Nアセチルシステイン）についての臨床研究を実施しております（慶應義塾大学倫理委員会承認番号 20170126）。腰痛があり、中等度の椎間板変性を有する患者様が対象となります。ご希望の患者様は岡田英次郎院長までご相談下さい。

募集期間	2021年1月～2022年12月
服用期間	24週間（プラセボ錠含む）
取り込み基準	<ul style="list-style-type: none"><li>・年齢 20 歳以上 65 歳未満</li><li>・腰痛がある</li><li>・中等度（Pfirrmann 分類 3 または 4）の椎間板変性がある</li></ul>
協力事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・年齢、身長、体重、血液検査、X線画像などのデータ</li><li>・MRI 撮影（開始前、投与 24 週後、謝礼あり）</li><li>・アンケート</li></ul> （個人のデータのみが取り上げられ提示されることはありません）

\*ご希望いただいても、参加条件を満たさない場合はご参加いただけないことがあります。